

1/19(火) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～

北海道スタイル

報道発表資料の配付日時

1/19(火)

15時00分

| | | | |
|------------------|---|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 腸管出血性大腸菌感染症の発生について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施場所) | 発表者 | |
| | 月 日 () 時 分～ | 発表場所 | |
| 概 要 | <p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>別紙1 ◆週報（腸管出血性大腸菌感染症（3類感染症）の発生について） 釧路保健所、中標津保健所（HUS併発例・詳細は別紙2のとおり）</p> <p>別紙2 ◆腸管出血性大腸菌感染症（溶血性尿毒症症候群（HUS）の発生について） 中標津保健所</p> | | |
| 参 考 | | | |

| | | | |
|---------------------------|---|--------------|--|
| 報道（取材） に当たっての お 願 い | <p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p> | | |
| 他のクラブ との関係 | 同時配布 | (場所) | |
| | 同時レク | 釧路保健所、中標津保健所 | |

| | | | |
|--------------|------------------------------|----------|------------------------|
| 担 当 (連絡先) | 保健福祉部健康安全局地域保健課感染症対策係（担当：山下） | | |
| | 電話 | (代 表) | 011-231-4111（内線25-506） |
| | | (ダイヤルイン) | 011-204-5253 |

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和3年（2021年）1月19日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和3年（2021年）第2週（1月11日（月）～1月17日（日））に、釧路保健所及び中標津保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

| 保健所 | 区分 | 性別等 | 発症日及び 主な症状 | 受診日 | 保健所 確認日 | 現在の状況 | 備考 |
|-----|--------------|--------------|---------------------------|--------------|--------------|---------------------------|--|
| 釧路 | 患者 (O157) | 女性 (60歳代) | 1月3日(日) 下痢、血便 腹痛、嘔吐 | 1月7日 (木) | 1月13日 (水) | 入院中であ り、快方に向 かっている。 | — |
| 中標津 | 患者 (O157) | 女性 (50歳代) | 1月8日(金) 下痢、血便 嘔吐 | 1月11日 (月) | 1月14日 (木) | 入院中であ り、快方に向 かっている。 | 溶血性尿毒症 症候群（H U S）を併発。 ※詳細・別紙2 |

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、所管保健所においても資料配付を行っています。

<報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2021年） 1月17日（日）時点

| 区分/O抗原型 | 1 | 4 | 8 | 25 | 26 | 86 | 91 | 103 | 111 | 121 | 124 | 125 | 128 | 145 | 146 | 157 | 166 | 不明 | 合計 |
|-----------|---|---|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 患者 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| 無症状病原体保有者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |

（単位：人）

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について (溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例)

令和 3 年 (2021 年) 1 月 19 日 (火) 15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-2013

令和 3 年 (2021 年) 1 月 14 日 (木) に、中標津保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症 (O157 (ペロ毒素産生性、(溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例)) が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

中標津保健所管内の女性 1 名が、下痢、血便、嘔吐、腹痛、発熱症状を呈し、医療機関を受診し検査を受けたところ、腸管出血性大腸菌感染症 (O157、ペロ毒素産生性) であり、HUS を併発したことが確認された。

2 現在の状況

入院加療中であり、症状は快方に向かっている。

3 経過

1 月 8 日 (金) 下痢、血便、嘔吐症状出現
 11 日 (月) 腹痛・発熱出現し、医療機関を受診し入院、検査、治療
 14 日 (木) 溶血性尿毒症症候群 (HUS) を併発
 医療機関より腸管出血性大腸菌感染症の患者発生届を受理

4 感染経路
調査中

5 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

6 その他

この件については、本日 15 時 00 分、中標津保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。(経口感染)

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5 日が多いが、1 週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

溶血性尿毒症症候群 (HUS) とは

概要：腸管出血性大腸菌 (EHEC) が産生するペロ毒素が、腎臓の微小血管に障害を起こすことで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎機能障害といった症状が現れる病態である。

その他、意識障害、痙攣、頭痛といった症状もみられる。

HUS は EHEC 感染者の約 1～10% に発症し、特に小児や高齢者が発症しやすい。

EHEC に感染し、下痢あるいは発熱出現後 4～10 日に発症することが多い。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況 (2021 年)

1 月 17 日 (日) 時点

| 区分/O抗原型 | 1 | 4 | 8 | 25 | 26 | 86 | 91 | 103 | 111 | 121 | 124 | 125 | 128 | 145 | 146 | 157 | 166 | 不明 | 合計 |
|-----------|---|---|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 患者 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |
| 無症状病原体保有者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 |

(単位: 人)

*政令市 (札幌市・函館市・小樽市・旭川市) 及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)